

## 学生発案「営農型太陽光発電見学会」を開催 ～千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト～

千葉大学環境ISO学生委員会、株式会社京葉銀行および千葉エコ・エネルギー株式会社※は、2019年9月18日（水）、県内農業関係者と千葉大生を対象に、農業と発電事業を同時に行う新しい農業形態を紹介する「営農型太陽光発電見学会」を千葉市内で開催いたします。

※千葉エコ・エネルギー株式会社は、農業振興や地域創生を目指して、営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の更なる研究開発に取り組む企業です。

### ■ 営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）とは

農地に支柱を立て太陽光発電設備を設置し、農業と発電事業を同時に行う新しい形の農業モデルです。2013年3月、農林水産省発表の「支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いについて」により、ソーラーシェアリングの事業形態が明確化されました。



### ■ 営農型太陽光発電 見学会について

日時：2019年 9月 18日（水）

13:00～14:30（農業関係者・千葉大生向け 約20名）

会場：千葉市大木戸アグリ・エナジー 1号機（千葉市緑区大木戸町）

※Googleマップで「千葉市大木戸アグリ・エナジー」と検索

内容：説明会と現地見学

- ・学生委員会よりプロジェクトの説明
- ・千葉エコ・エネルギー株式会社より説明  
「農業とエネルギーの未来へ ～農業向け自家消費太陽光発電・蓄電システムについて～」
- ・営農型太陽光発電の現地見学
- ・農作業体験（見学会終了後、希望者のみ）



### ■ 「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」と本見学会実施の経緯

国立大学法人千葉大学と株式会社京葉銀行は2012年に包括的連携協力に関する協定を締結し、地域の皆さまへのさまざまな“付加価値”の提供と、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいりました。

2017年7月より、千葉大学環境ISO学生委員会と協同で「7色の虹を千葉から未来へ～千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト～」を開始しました。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて7つの企画を学生が発案し、地域の方や学生、京葉銀行の関係者に対して、環境意識の啓発につながるイベント等の活動を行っています。

（公式サイト [https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco\\_project/](https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco_project/)）

本見学会は、農業の未来と再生可能エネルギーの研究の一環として学生のアイデアから企画され、同委員会OBが代表を務める千葉エコ・エネルギー株式会社に協力を依頼。京葉銀行が取引先の農業関係者に働きかけて参加者を募ることで実現しました。

